

## 第86回 経営協議会（定例）議事要旨

日 時 平成27年11月26日（木）15:30～17:01  
場 所 事務局4階第3会議室

- 報告事項1. 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果等について（資料1）
- 報告事項2. 平成27年度医学部・歯学部附属病院収入・支出決算見込額について（資料2）
- 報告事項3. 平成27年度学長裁量経費の配分状況について（資料3）
- 報告事項4. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料4）
- 報告事項5. 記者発表事項等について（資料5）

その他

- ・損害賠償請求について（資料：席上配付・回収）

[出席委員] 12名

前田学長

(理事) 島、高松、清原、住吉、永井、熊本

(学外有識者) 伊牟田、笹川、種村、永田、中村

[欠席委員] 3人

(学外有識者) 玉川、豊島、松木園

[オブザーバー]

(理事) 石窪

(監事) 赤坂、押越

(副学長) 野呂、武隈

[事務局]

(部長) 外間、野田、大園、廻、渡邊、平原

(課長・室長) 松野下、中村、通山、中園、荒武、松浦、落合、西、湊、増間、壽福、脇野

報告事項1. 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果等について（資料1）

高松理事から、平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果等について資料に基づき説明があった。

報告事項2. 平成27年度医学部・歯学部附属病院収入・支出決算見込額について（資料2）

熊本医学部・歯学部附属病院長及び同事務部長から、平成27年度医学部・歯学部附属病院収入・支出決算見込額について資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われた。

なお、委員から大要以下の意見が出された。

- ・昨年度の支出超過を踏まえ、経費削減を行うことは必要であるが、一方で、財務改善には攻めの戦略こそが必要である。大学病院のブランド価値向上と地域医療の中核的な存在を維持するためにも、一般病院並みの設備投資（例えば、ダビンチ導入）は最低限必要であり、それらへの投資を控えるべきではない。
- ・レセプト請求について、請求の遅れ等がなくなるよう改善を図る必要がある。

#### 報告事項3．平成27年度学長裁量経費の配分状況について（資料3）

永井理事から、平成27年度学長裁量経費の配分状況について、資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われた。

なお、委員から大要以下の意見が出された。

- ・今年度の学長裁量経費を大幅に増額したことで、研究費等が大幅に減額され、教育研究の現場に大きな影響が出ているようである。予算編成時の見通しが甘かったのではないか。
- ・鹿児島大学にとって必要なことは改革であり、そのためにも学長裁量経費をさらに増やし、選択と集中により改革を一気に進める必要がある。

#### 報告事項4．本学教育研究評議会での審議事項等について（資料4）

学長から、本学での動向等を把握して頂くために、教育研究評議会での審議事項等を添付している旨説明があった。

#### 報告事項5．記者発表事項等について（資料5）

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

#### その他

・学長から、財政制度等審議会財政制度分科会において公表された「国立大学運営費交付金に関する財務省提案」に対し、経営協議会学外委員からの声明を出していただきたい旨の依頼があり、永井理事から本財務省提案の概要等の説明があった後、種々意見交換が行われ、経営協議会学外委員からの声明を出すこととなった。

・島理事から、損害賠償請求訴訟について、本学外1名を被告とする損害賠償請求の訴えが平成27年9月8日付けで鹿児島地方裁判所に提訴された旨資料に基づき説明があった。

今回の開催は、（定例）平成28年1月28日（木）13時30分からとなった。